

勝田高校図書館だより

平成30年度 第4号

平成30年7月20日発行



今年は6月中に梅雨が明け、早くから厳しい暑さが続いています。今年の暑さは、例年になく耐えがたいものですね。すでに夏ばて気味の人もいるのではないのでしょうか。この暑さの中で、野球部の部員や応援団・プラスバンドに参加した人たちがばかりでなく、皆で熱い野球応援が経験できました。体調を崩した人もいましたが、何百・何千もの目で一球のボールを追うというスポーツならではのドラマを実感できた二日間でした。

情熱を抱いたり、何かに熱中する瞬間を求める一方で、何者にも侵されず、静かに自分の内側を見つめていたいという思いも抱くのが、人の心というものではないのでしょうか。興奮や感動に波立った心を、日常に戻し、当たり前の生活を大切にするためには、体や頭が実体を感じ反応することが必要です。昨年一度書いたことがあります、紙に書かれたものを読んだり眺めたりすることは、実体のある、肌で感じる物質を通して知覚したり考えたりすることです。仮想空間や、非日常の楽しみばかりでなく、五感を活用し刺激することで、生きている手応えが得られることも少なくありません。本のページをめくる感触や、紙やインクの香りが、そして内容ばかりでなく、本を読んでいた時間そのものが、私達を生かしてくれることもあります。暑い夏の日に本の世界に没頭する時間を持った経験、そして出会った本の中の言葉が、いつの日か皆さんの背中を押してくれるような、そんな一冊の本との出会いがこの夏皆さんに訪れることを願っています。

★読書感想文案内★

1年生の皆さん全員に、夏季休業中の課題として読書感想文が課されました。図書館には、読書感想文コンクールの課題図書や、授業で指示された推薦作家のコーナーも設置しました。是非活用してくださいね。



(書棚に目印が付いています。)

〈高等学校の部 課題図書〉

- ・『わたしがいどんだ戦い1939年』(評論社)
(キンバリー・ブルベイカー・ブラッドリー作 大作道子訳)
- ・『車いす犬ラッキー：捨てられた命と生きる』(毎日新聞出版)(小林照幸著)
- ・『いのちは贈りもの：ホロコーストを生きのびて』(岩崎書店)
(フランシーヌ・クリストフ著 河野万里子訳)

〈推薦作家〉

- ・夏目漱石 ・芥川龍之介 ・太宰治 ・角田光代 ・有川浩 ・湊かなえ
- ・夏川草介 ・東野圭吾

☆夏季休業中図書館開館日☆ ※土日は休館です。

月	火	水	木	金
7/23 夏季課外開館	24 夏季課外開館	25 夏季課外開館	26 夏季課外開館	27 夏季課外開館
30 夏季課外開館	31 学校説明会開館	8/1 開館	2 開館	3 開館
6 開館	7 開館	8 開館	9 開館	10 開館
13 学校閉庁期間閉館	14 学校閉庁期間閉館	15 学校閉庁期間閉館	16 学校閉庁期間閉館	17 開館
20 開館	21 河合塾模試閉館	22 開館	23 開館	24 図書研修準備委員会閉館
27 開館	28 開館	29 開館	30 開館	

※開館時間 9:00~16:00

☆長期貸出期間のご案内☆

- ・貸出期間：7/17(火)~9/7(金)
- ・貸出冊数：一人5冊まで

七月のうた(短歌・英訳)

「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日

Because you told me,
"Yes, that tasted pretty good,"
July the Sixth
shall be from this day forward
Salad Anniversary.

『英語対訳で読むサラダ記念日』

俵万智/Jack Stamm 訳

英語対訳で読む
サラダ記念日 俵万智
J・スタム(訳)



以前、ドイツで俳句が流行しているという話を聞いたことがあります。韻文を外国語で表現しても、それは描写にしかならないのではないかと、その時の私は思いました。しかし、大学で東洋学を専攻し、俳句の魅力にとりつかれ、また日本に30年もの間滞在する訳者の言葉には、五七五…とは異なるものの、確かに心の揺れを感じさせる音の躍動やリズムがあるように感じます。言葉の違いはあっても、表現の本質はそう変わらないものなのかも知れません。せつかくの夏休みです。普段手にしない本や言葉に触れる機会を見付けてみませんか? 充実した夏休みでありますように。